

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 6月14日更新

事務事業名		新型インフルエンザワクチン接種費助成事業				☒ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☒ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	健康福祉部	課長名	安武祐次
	施策	15	健康づくりの推進				所属課	健康づくり推進課	担当者名	八木 美保
	基本事業	45	地域医療体制の充実				所属班	健康推進班	(内線)	2166
予算科目		会計一般	款4	項1	目2	事業連番11431	法令根拠	新型インフルエンザ(A/H1N1)ワクチン接種に関する事業実施要綱		成果優先度評価結果：⑧ コスト削減優先度評価結果：⑥
終了、開始年度		☒ 22年度で終了 ☐ 22年度から開始				事業期間	☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度～年度) ☐ 期間限定複数年度			

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】	・厚生労働省新型インフルエンザ(A/H1N1)ワクチン接種に関する事業実施要綱に従い、ワクチン接種を行なった者に接種料金を補助する。(1回目3,600円 2回目2,550円：1回あたり1,000円の自己負担。低所得者には国2/4、県1/4の補助がある。)・新型インフルエンザが国内でまん延しており、厚生労働省がその対策としてワクチン接種を行なうこととなった。接種回数は13歳未満までが2回、その他は1回接種となった。
【業務の流れ】	①市民に周知 ②希望者は医療機関で予約、接種後、料金を助成 ③支払に関する事務(代理受領委任払い・個人への償還払い) ④実績に新型インフルエンザワクチン接種事業補助金申請
【主な予算費目】	扶助費
【意見や要望】	関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 市民から、ワクチン接種料金の助成をしてほしいという要望があり平成21年度から実施。合志市ではワクチン接種の助成があるから良かったとのこと意見も多くあった。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO) 新型インフルエンザ接種料金の助成		23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 季節性インフルエンザへの移行により、事業終了
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア ワクチン接種した者の数	人	季節性インフルエンザへの移行により平成22年度で事業が終了したため
イ 補助した金額		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
全市民		→ ア 優先接種対象者数
		イ
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
ワクチン接種を推進し、重症化を予防する。		→ ア 罹患数
		イ 重症例発生数
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	総トータルコスト 全体計画 ～年度
①活動指標	ア	人	0	16,965	13,000	27,390	0	0	0	
②対象指標	ア									
③成果指標	ア									
投資入費量	事業費	国庫支出金	千円							(期間限定複数年度のみ記載)
		都道府県支出金	千円		7,498					
		地方債	千円							
		その他	千円			21				
		繰入金	千円							
		一般財源	千円		21,121	4,618				
	人件費	(A)事業費計	千円	0	28,619	0	4,639	0	0	
		(A)のうち指定経費	千円	0	28,619	0	4,639	0	0	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	
		正規職員従事人数	人	0	9	9	4	0	0	
		延べ業務時間	時間	0	2,000	1,920	370	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	(B)人件費計	千円	0	7,960	7,641	1,524	0	0	
			千円	0	36,579	7,641	6,163	0	0	

事務事業名	新型インフルエンザワクチン接種費助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	----------------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部（SEE）

*原則は22年度的事後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した ワクチン供給も十分で多くの市民が接種可能であった。	☒ 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 新型ワクチンは季節性ワクチンとして切り替わる。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ワクチンを接種することで重症化の防止が期待できる。併せて罹患数の減少にも繋がる	☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 厚生労働省新型インフルエンザワクチン接種に関する事業実施要綱に基づくもので、代替案はない。	☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 代理受領払いにより事務量の軽減を図る。	☐ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 全市民に助成することおよび季節性インフルエンザと同額の補助を行なうため、公平性はある。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 国の新型インフルエンザワクチン接種ガイドラインに沿って実施したため適正であったと考える。	☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

ワクチンの供給量により優先接種対象者が決められたため、幼児・小学生・中学生・高校生の接種が流行期の最中になった。医師会と協力して集団接種の態勢をとりたかったが問題点が多く実現できなかった。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								